



令和7年3月定例議会

定例記者会見

名張市

令和7年2月20日(木)



3月定例議会

条例議案 11件

名誉市民、表彰条例の見直しのほか、国や法改正に伴う条例の一部改正

一般議案 6件

市立病院の独立行政法人への移行にかかるものなど

令和6年度補正予算 10件

令和7年度当初予算 10件



令和6年度3月補正(案)

令和6年度 一般会計補正予算(第8号)について

補正額 5億5,079万2千円の増額(補正後予算額 334億7,321万9千円)

◎投資的経費の追加及び精査 6億9,237万9千円の増額

- 基幹水利施設ストックマネジメント事業・・・132万3千円 ※国補正分(県事業負担金)
- 県営水利施設管理強化事業(青蓮寺用水地区)・・・58万4千円 ※国補正分(県事業負担金)
- 県営農道保全対策事業(伊賀2期地区)・・・675万円 ※国補正分(県事業負担金)
- 社会資本整備総合交付金事業(道路新設改良)・・・856万2千円 ※国補正分(市道新田南古山線の改良):2,000万円
- 道路メンテナンス事業・・・72万8千円 ※国補正分(6橋梁の測量設計、4橋梁の修繕):101万6千円
- 社会資本整備総合交付金事業(公園施設長寿命化)・・・680万円 ※国補正分(7公園の遊具修繕)
- 小学校大規模改良事業・・・4億4,684万円 ※国補正分(錦生赤目小学校屋内運動場の大規模改修)等
- 中学校大規模改良事業(EV設備)・・・2億1,757万7千円 ※国補正分(名張・赤目・南中のEV整備) など

◎経常的経費の追加及び精査 1億4,158万7千円の減額

- 人件費の精査(会計年度任用職員報酬等)・・・△7,807万6千円
- 物件費の精査(新型コロナワクチン接種委託等)・・・△1億8,265万3千円
- 扶助費の追加(介護給付費、訓練等給付費、民間保育所等運営事業等)及び精査・・・9,288万2千円
- 繰出金の追加(国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計)及び精査・・・1,115万7千円
- 積立金の追加(減債基金、企業版ふるさと納税基金等)・・・2億6,477万8千円 など

(歳入予算の主なもの)

市税・・・1億2,109万5千円の増額(法人市民税1億3,640万円の増額等)

地方交付税・・・3億4,768万9千円の増額(国総合経済対策に基づく普通交付税の追加配分)

財政調整基金繰入金・・・5億4,110万円の減額

◎第8号補正予算後の財政調整基金残高:17億6,796万6千円

令和6年度 特別会計補正予算について

6会計の補正額 3億5,125万7千円の減額

各会計において、事業費の精査などを行っています。

●住宅新築資金等貸付事業特別会計	△108万6千円
●東山墓園造成事業特別会計	△1,213万9千円
●国民健康保険特別会計	△3億9,451万9千円
●介護保険特別会計	△3,511万9千円
●後期高齢者医療特別会計	9,168万5千円
●国津財産区特別会計	△7万9千円

令和6年度 企業会計補正予算について

各会計において、事業費の精査などを行っています。

●病院事業会計	3,865万7千円
●水道事業会計	△3億7,095万4千円
●下水道事業会計	△3億9,408万5千円

令和7年度当初予算(案)

3つの「危機」から
市民の命と安心を守り抜く予算

3つの「危機」から市民の命と安心を守り抜く予算

財政危機を克服

主要事業

- ・大改革宣言による
行財政改革の実行
- ・公民連携の推進
- ・外部人材活用

災害危機に備える

主要事業

- ・防災対策
- ・木造住宅耐震事業
- ・県衛星系防災行政無線整備
- ・水道管路耐震化事業
- ・農業水路等長寿命化
- ・農村地域防災減災事業
など

人口減少危機に対応

子ども子育て支援の充実

主要事業

- ・名張あんしん出産・子育て
応援事業
- ・妊婦支援給付事業
- ・子ども若者第三の居場所
創生事業
- ・子どもの居場所創生事業
- ・救急・健康相談ダイヤル24

令和7年度当初予算の規模

一般会計当初予算の規模 過去最大の予算規模

令和7年度一般会計当初予算 **307億9,300万円**
(対前年度比13億2,700万円、4.5%の増加)

当初予算	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
予算額	273.4億円	276.61億円	292.42億円	294.66億円	307.93億円
増減率	△2.8%	1.2%	5.7%	0.8%	4.5%

財政危機 を克服

大改革宣言による行財政改革の実行

- 「なばり新時代の大改革宣言」の発出に伴い、市民の皆様のご理解の下、この難局を乗り越えるために抜本的・集中的に行財政改革を推進
- 令和7年度の「財政健全化」の取組目標額（4億円）に対して、約5億1,954万円の取組効果額を反映しました。

歳入確保の取組 **3億5,023万円**

- ・受益者負担の見直し・・・がん検診自己負担金引き上げ
- ・国庫補助金確保・・・地域活性化起業人、集落支援員制度
- ・未利用資産の売却・有効活用・・・旧保育所用地売却
- ・寄附拡充の取組強化・・・ふるさと応援寄附金拡充
- ・その他の財源確保・・・ネーミングライツ施設の拡充

歳出削減の取組 **1億6,930万8千円**

- ・人的資源の最適化・・・時間外勤務の抑制
- ・施設維持管理費の削減・・・LED化による電気代削減
- ・事務事業の見直し・・・福祉バス運行見直し、応急診療所
診療時間の見直し
民間保育所措置費(市単事業の見直し)
- ・補助金の見直し・・・地域福祉増進事業補助金の見直し

効果額 約5億1,954万円

財政危機 を克服

主な歳入確保の取組内容

ふるさと応援寄附金の拡充

令和7年度は、新たな中間事業者と連携し、ふるさと納税市場の動向を的確に捉え、戦略的かつ計画的な取組を進め、更なる寄附額の増加（目標額：7億円）を目指します。



企業版ふるさと納税の活用

P R を兼ねた企業等への訪問を進め、令和6年度は、5,400万円の企業版ふるさと納税を寄附いただきました。

< 一部活用事業 >

- ・シティプロモーション推進事業・オール名張地域経済活性化事業
- ・大阪・関西万博プロモーション事業・防災対策費

クラウドファンディング

様々な事業で寄附を募る
オオサンショウウオ保護活動費 目標達成



新たなネーミングライツ施設

4月から

武道交流館いきいき

ベルウイング武道交流館

金額 年間 150万円



市立図書館

市立図書館すなお

金額 年間 37万円



市総合体育館 ベルウイングアリーナ

金額 年間 200万円

市民ホッケー場 憩いの里ライフテクノフィールド

金額 年間 68万円

現在募集中 3月末まで

- ・公園 3か所 1公園につき30万円以上
- ・市道 7路線 1路線につき20万円以上

財政危機 を克服

外部人材の活用

- 社会変化に伴う新たな行政課題に対して、柔軟な発想や優れた知見を取り入れるため、**地域おこし協力隊**や**地域活性化起業人**など国の制度を活用し、**外部専門人材**のノウハウを活かし、人材不足をカバーし課題解決に向けた取組を進めます。

地域活性化起業人

新規

公民連携の推進 2人… 760万円
行政事務のBPR等 2人… 760万円
観光地域づくりの推進 2人… 760万円

地域プロジェクトマネージャー

観光戦略推進 1人… 251万円 **新規**

地域おこし協力隊

新たに4人採用予定
合計9人 R7 3,913万円 **拡充**

地域力創造アドバイザー

赤目四十八滝の観光誘客 1人… 450万円

公民連携の取組推進

- 民間事業者等と行政が対話による相互理解を進め、アイデアを出し合い、互いの強みを掛け合わせることで、地域課題の解決や新たな価値の創出できるよう、**公民連携の対話窓口（コラボスタNABARI）**を令和7年4月に設置します。

災害危機 に備える

南海トラフを想定した防災・減災対策

- 南海トラフ地震をはじめとする自然災害の脅威が高まる中、国の交付金事業等を活用し、防災備蓄品の整備や孤立集落への対応など総合的な防災力強化を図ります。

拡充

▶ 防災対策費 **3,883.1万**（担当室：危機管理室）

各地域合同の総合防災訓練のほか、令和6年に実施した福祉避難所の訓練を引き続き行い防災力を高めます。

避難生活の環境整備を見据えた資機材の購入します。
（プライバシーテント、簡易ベット、倉庫等）



拡充

▶ 木造住宅耐震事業 **814.5万円**（担当室：住宅室）

耐震シェルターの設置工事補助50万円×2戸分 100万円

▶ 県衛星系防災行政無線整備事業 **391.4万円**（担当室：危機管理室）

県と県内全市町を結ぶ衛星通信システムの次世代型への更新事業



災害危機 に備える

防災対策ハード事業



水道管路耐震化事業（繰出金）

3,243.6万円（担当室：水道工務室）

水道事業会計において水道ビジョンに基づく水道施設の更新を行っていますが、地震災害等を踏まえ、水道管路耐震化事業に対し繰出を行っています。



農村地域防災減災事業（三ヶ村井堰地区）

528万円（担当室：農村整備室）

三ヶ村井堰下流域（夏見区・瀬古口区・箕曲中村区）における人家等への洪水被害を防ぐため、県が実施する井堰改修事業に係る負担金です。



農業水路等長寿命化・

防災減災事業 1,433万円
（担当室：農村整備室）

農業生産活動の基盤となる農業用水路等の農業水利施設が将来にわたってその機能を安定的に発揮できるよう、適時、適切に長寿命化対策や防災減災対策を行います。

令和7年度は、三ヶ村水路と石倉井堰の測量設計業務及び三ヶ村水路の改修工事を行います。

新規



緊急輸送道路沿道建築物耐震事業

1,507.6万円（担当室：住宅室）

緊急輸送道路沿道建築物の倒壊により、緊急車両の通行や住民の避難の妨げにならないよう、対象建築物の所有者が行う耐震補強工事に対する補助をします。

人口減少危機 への対応

あんしん出産・子育て応援

▶ 名張版ネウボラ事業 **3,540.6**万円

(担当室：健康・子育て支援室)

安心して子どもを産み育てることができるよう、妊娠・出産・育児の切れ目のない支援を行います。



▶ 妊婦のための支援給付事業 **4,912**万円 (担当室：健康・子育て支援室)

妊婦の産前産後期間における身体的・精神的・経済的負担を軽減し、妊婦や胎児である子どもの保健及び福祉の向上に寄与することを目的とし、妊婦支援給付金を支給します。

▶ あんしん出産・子育て応援事業

3事業はR7.2からスタート

- 妊婦情報事前登録制度
- 遠方の分娩取扱施設への交通費等支援事業 **200**万円
- 医師・助産師オンライン相談
198.7万円 名張版ネウボラ事業に包含
- 産後ケア事業 (デイサービス型)
152万円 名張版ネウボラ事業に包含

新規



人口減少危機 への対応

子どもの居場所・医療体制推進

新規



子ども若者第三の居場所創生事業

5,499.5万円（担当室：子ども家庭室）

総合福祉センターふれあい
3階に子どもや若者が集える
**若者の第三の居場所（ユース
プレイス）**を開設するための
整備を行います。



拡充



医療体制推進費 **1,462万円**（担当室：医療福祉総務室）

住民の救急医療に対する不安を緩和するとともに、救急車の適正な利用を促し、重症者の救命率の向上を図ることを目的として、**24時間体制で医療従事者が電話相談に応じて適切な助言等を行う「救急・健康相談ダイヤル24」**を実施します。また、三重県・伊賀市と連携して、伊賀地域の拠点となる産科医療機関の機能を強化するための支援等、安心して妊娠・出産できる環境の整備に取り組みます。



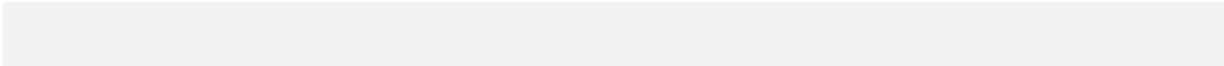
子どもの居場所創生事業

175.4万円（担当室：子ども家庭室）

放課後児童クラブの利用需要が高まる夏休み期間中、一部のクラブでは人員体制等の課題により、受入れできない状況を改善するため、総合型地域スポーツクラブに事業を委託して、**クラブを利用できない児童のために、夏休み期間の居場所**を新たに設けます。



市総合計画「なばり新時代戦略」に掲げる 令和7年度 各施策の主な取組





産業をおこす

- 赤目四十八滝を中心とした**観光再生**に向け観光誘客に地域経済の発展を進めます。
- **開幕が目前に迫った大阪・関西万博**に出展し、本市のPRに努めます。万博終了後においても、官民連携による観光を基軸とした市内産業の活性化に取り組みます。

拡充



観光戦略推進事業 **5,667.1**万円

(担当室：観光交流室)

名張市観光戦略〔2023改定版〕で定める4つの基本戦略を柱に、各種取組を横断的・多面的にかつ一体的に推進します。令和7年度は、新たに**地域活性化起業人などの外部人材制度を活用し**、観光を軸にした地域産業の活性化及び地域課題の解決を図ることを目的とする観光地域づくり法人の形成・確立の支援を行います。また、赤目四十八滝への**交通渋滞対策としてパークアンドライドの検証事業**を行います。





産業をおこす

2025大阪・関西万博に向けて



▶ 大阪・関西万博経済循環創出事業 **1,000**万円（担当室：観光交流室）

大阪・関西万博を契機にした、観光誘客と観光消費額の拡大による市内経済活性化を図るため、観光事業者DX支援、オンライン及び都市部を中心とした観光プロモーションを行います。加えて、東奈良名張ツーリズム・マーケティングにおいて、関西でのインバウンドプロモーションを強化するほか、国内外へ旅行会社へのセールス等を行います。

新規

▶ 大阪・関西万博プロモーション事業 **319.2**万円（担当室：観光交流室）

大阪・関西万博に来訪する国内外の観光客に対して、本市の認知度及び興味・関心の向上と、本市への誘客を図るため、**万博会場の関西パビリオン内の三重県ブースへの出展**をはじめ、三重県主催の「自治体参加催事」及び「関西パビリオン多目的エリアイベント」への参加を通じ、本市の様々な魅力を発信します。



若者のまちづくりへ参加と関係人口の増やす

- 市民参画型シティプロモーションにより、**ロゴの活用と浸透を目指し、活動人口を増やします。**
- 市の情報を分かりやすく、魅力的な市民の活動を**市広報**で伝えます。市公式LINEによる情報発信、eモニター制度により広聴機能を強化します。

▶ シティプロモーション推進事業

715.6万円

(担当室：広報シティプロモーション推進室)

主体的にまちづくりに関わる人や交流人口、関係人口を創出します。市民発のブランドロゴを浸透させるためのツールづくりや展開方法を市民と共に検討するとともに、プロモーション動画の制作などを通して、移住定住に係る情報発信を強化します。



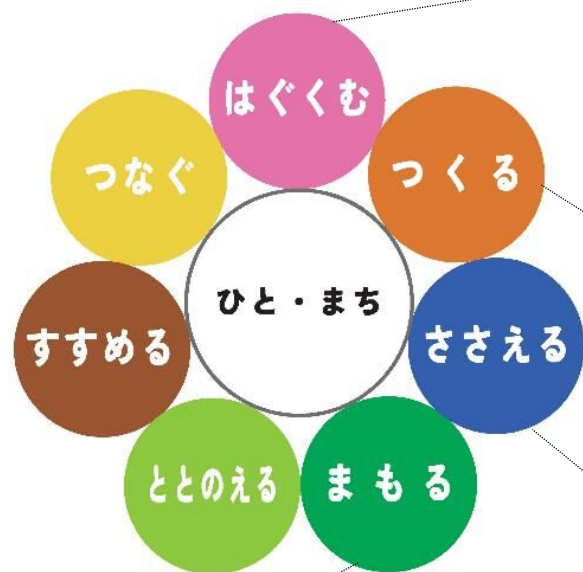
▶ 広報活動費 **2,496.2万円**

(担当室：広報シティプロモーション推進室)

「名張市広報戦略」に基づき、広報紙やホームページ、SNSなど多様な広報媒体の特性を生かしながら、効率的・効果的な「伝わる」情報発信を行います。



R 6 年度県広報コンクール特選4 冠



はぐくむ	予算
第3子以降の保育料・副食費無償化事業	4,369.7万円
子ども医療助成事業	2億2,810.6万円
ふるさと応援推進事業	3億4,995.4万円
オールなばり地域経済活性化事業	346.2万円

つくる	予算
多文化共生のまちづくり促進事業	31.1万円
放課後子ども支援事業	345.7万円
ごみ処理広域化検討事業	411.2万円
有機農業産地づくり推進事業	255.7万円

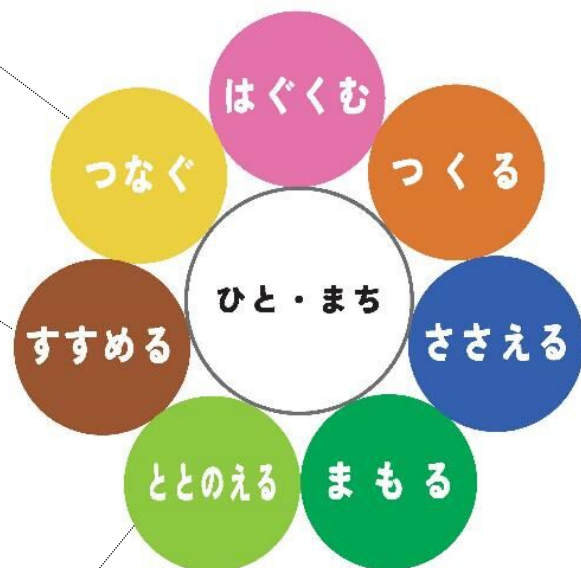
まもる	予算
人権推進費	119.3万円
県衛星系防災行政無線整備事業	391.4万円
社会資本整備総合交付金事業 (交通安全施設整備)	1億67.9万円
緊急自然災害防止対策事業	6,500万円

ささえる	予算
保健事業と介護予防の一体的実施事業	1,158万円
病院群輪番制病院運営事業	3,128.3万円
社会参加支援事業	513万円

つなぐ	予算
企画一般経費	44万円
文化財保護費	635万円
公共交通対策事業	2,669.7万円
コミュニティバス運行補助金	1,245万円
ふるさと能文化振興事業	238.2万円

すすめる	予算
行政・デジタル改革推進事業	1,568万円
職員研修費	198.6万円
自治体情報システム標準化等対応事業	3億5,254.2万円
公共施設マネジメント推進事業	2,561.5万円

ととのえる	予算
スポーツ活動推進費	726.4万円
社会資本整備総合交付金事業(公園施設長寿命化)	340万円
賑わい創出拠点整備事業	300万円
木造住宅耐震事業	814.5万円



はぐくむ

子育て・教育・産業・森林・関係人口

▶ 第3子以降の保育料・副食費無償化事業

※歳入減分 **4,369.7万円**

(担当室：保育幼稚園室)

子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子育てできる環境づくりを進めるため、保育所（園）、幼稚園、認定こども園に入所している**第3子以降の子ども**の保育料及び副食費を無償化します。

▶ 子ども医療助成事業

2億2,810.6万円 (担当室：保険年金室)

子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、**中学3年生までを対象に医療費（保険診療の自己負担額）を助成します。**また、県内の保険医療機関で医療を受けた場合における医療費については、現物給付方式により窓口負担をなくします。

拡充

▶ ふるさと応援推進事業

3億4,995.4万円 (担当室：商工経済室)

総務省のふるさと納税制度を活用した寄付拡大に向けたPR、返礼品、専用サイト手数料、事務委託等に係る経費です。令和7年度は、**新たな中間事業者を迎え**、ふるさと納税市場の動向を的確に捉え、戦略的、**計画的にさらなる寄付額の増加を目指す**とともに（目標7億円）、本市と地場産品の認知度向上、市内経済の活性化につなげていきます。

拡充

▶ オールなばり地域経済活性化事業

346.2万円 (担当室：商工経済室)

名張商工会議所等との官民連携や市役所内の部署を横断したオールなばりの取組を通じ、市内事業者が活動しやすく成長できるような環境を整え、地域経済の活性化につなげるための事業です。

つなぐ

地域福祉・文化・発信・住民自治・交通・次世代



企画一般経費

44万円

(担当室：総合企画政策室)

伊賀市を中心とする定住自立圏の形成に関する協定の締結により、**圏域の目指す将来像を定めた共生ビジョンの見直し**を行い、広域的な関係づくりの更なる強化を図ります。

拡充



文化財保護費

635万円

(担当室：文化生涯学習室)

10月に開催する「**日本オオサンショウウオの会名張大会**」の**全国大会**に向け、「清流のまち名張」として、全国に魅力を発信します。



公共交通対策事業

2,669.7万円

コミュニティバス運行補助金1,245万円

(担当室：都市計画室)

中心市街地を巡回する**市街地循環型コミュニティバス**と**交通空白地の自家用有償運送によるコミュニティバス**の運行を行います。地域が主体となってコミュニティバスの運営を行っており、補助金を交付しています。



ふるさと能文化振興事業

238.2万円

(担当室：文化生涯学習室)

「観阿弥創座の地」である名張として伝統文化の発展と継承を進めるため、まちづくり組織との協働により、子ども狂言指導及び「**観阿弥祭**」、「**名張能楽祭**」等の能楽振興事業を実施します。

つくる

多様性・青少年育成・農業・環境・都市形成



多文化共生のまちづくり促進事業

31.1万円（担当室：人権・男女共同参画推進室）

市内に居住・定住する外国人住民に向け、文化的背景を異にする人々が共生・協働する社会の構築を推進します。また、**日本語講師の養成や日本語教室の充実を図る**ことで、生活者としての日本語を学びたい外国人（外国にルーツを持つ人）が安心して暮らせる社会の実現につながります。

拡充



放課後子ども支援事業 **345.7万円**

（担当室：文化生涯学習室）

放課後や週末に小学校や市民センター等の地域の施設を活用し、地域住民の参画を得て、子どもたちと一緒に勉強やスポーツ、文化活動等を行うことで、**子どもたちの安全・安心な活動拠点「居場所」づくり**や心豊かに育まれる環境づくりを進めています。



ごみ処理広域化検討事業 **411.2万円**

（担当室：環境対策室）

伊賀南部クリーンセンターの操業期限が令和16年3月末となっている中、将来を見据えた持続可能なごみの適正処理の確保のため、**伊賀市、笠置町及び南山城村とのごみ処理の広域化を検討**します。



有機農業産地づくり推進事業

255.7万円（担当室：農林資源室）

有機農業への消費者の認知度向上を目指し、引き続き生産者と消費者の交流の場となるイベントの開催や学校給食への試行導入に取り組むとともに、新たに**伊賀地域の有機農産物のブランド化**に向けた取組を進めます。

すすめる

消防救急・土地利用・デジタル・財政運営

拡充



行政・デジタル改革推進事業

1,568万円

(担当室：行政・デジタル改革推進室)

地域活性化起業人制度を活用し、業務プロセスの見直し・再構築を行うとともに、業務改革を促進し効率的な作業プロセスを構築します。また、生成AIの活用により、住民サービスの向上や職員の負担軽減を目指し、業務効率化に取り組みます。

新規



自治体情報システム標準化等対応事業

3億5,254.2万円

(担当室：情報政策室)

地方公共団体情報システムの標準化の対象となる20業務の標準準拠システムへの移行、ガバメントクラウドへの搭載、標準化対象外システムとの情報連携環境の構築及びガバメントクラウドを含めたデータセンターとのネットワーク環境の構築を行います。



職員研修費

198.6万円

(担当室：人事研修室)

限られた職員数で効率的・効果的に業務を進めていくため、階層別研修をはじめ、新規採用者研修、コンプライアンス研修、ハラスメント研修、人権研修の充実などにより、職員の意識改革を行い、変化する業務に対応できる質の高い人材を育成します



公共施設マネジメント推進事業

2,561.5万円

(担当室：公共施設マネジメント室)

老朽化が進む多数の公共施設等について、長寿命化等に向けた計画的なマネジメントを行います。昨年度から実施している公共施設等の劣化状況調査を引き続き行い、個別施設計画を策定します。

ささえる

健康・医療・高齢者福祉・障害者福祉・上水道

▶ 保健事業と介護予防の一体的実施事業 **1,158万円**

(担当室：健康・子育て支援室、地域包括支援センター)

高齢者の健康状態を把握し、フレイル状態にある高齢者を対象に、保健師、管理栄養士、歯科衛生士が健康教育・相談を実施します。

また、地域の実情に応じ、高齢者が健康に関する不安等について日常的に気軽に相談が行える環境づくりや、介護予防の通いの場への参加勧奨を行うなど、**高齢者自身の健康づくりへの日常的な意識を醸成する取組を実施し、介護予防につなげます。**

▶ 病院群輪番制病院運営事業 **3,128.3万円**

(担当室：医療福祉総務室)

伊賀地域の二次救急を確保するため、伊賀市と連携し、**伊賀地域の3病院による輪番体制の維持**に取り組みます。

▶ 社会参加支援事業 **513万円**

(担当室：障害福祉室)

ひきこもり状態にある人等が社会参加していくことを目的に、農業就労体験実習を基軸に置いた多産業種での就労体験等を、多様な支援メニューの提供が可能な障害者アグリ雇用推進協議会の活動を通じて行います。さらに、各関係機関との連携や利用者への定期的な訪問・連絡により、就労の定着支援やフォローアップを行うことで利用者のニーズを把握し、利用者の求める方向性にコーディネートします。

ととのえる

スポーツ・緑地公園・住宅・下水道

▶ スポーツ活動振興費 **726.4万円** (担当室：市民スポーツ室)

指定管理者や関係協会と連携し、市民からのスポーツに関する受付や相談、市民大会の開催に向けての企画運営、指導者の養成及び競技力の向上など、**スポーツの普及啓発及び振興に寄与する取組**を行います。

▶ 賑わい創出拠点整備事業 **300万円** (担当室：道路河川室)

名張川改修工事（引提）により創出される河川親水空間と名張川・宇陀川の背後地を活用し、交流人口の拡大、地域産業の活性化による賑わいを創出するための拠点整備に向けた基本計画を作成します。

(再掲) **拡充**

▶ 木造住宅耐震事業 **814.5万円** (担当室：住宅室)

市民の生命や財産を守るため、木造住宅の耐震化への支援を行います。

- ・耐震診断業務委託料（25戸） 2,075千円
- ・耐震補強工事補助（2戸） 3,680千円
- ・リフォーム工事補助（2戸） 400千円
- ・除却工事補助（4戸） 828千円
- ・**耐震シェルター設置補助（2戸）** 1,000千円

など

▶ 社会資本整備総合交付金事業 （公園施設長寿命化） **340万円** (担当室：維持管理室)

名張市公園施設長寿命化計画における緊急度の高い公園遊具等の更新を令和3年度から令和7年度までに掛けて、整備計画に基づき都市公園について**公園施設の更新**を行います。

まもる

人権・防犯・交通安全・防災・生活環境・道路



人権推進費

119.3万円

(担当室：人権・男女共同参画推進室)

あらゆる差別をなくし、市民一人ひとりの人権が尊重される名張市を実現するため、地域・職域の様々な機会を捉えた啓発活動を推進し、市民の人権意識の向上に取り組むとともに、人権相談をはじめ、人権擁護活動の充実を図ります。

(再掲)

新規



県衛星系防災行政無線整備事業

391.4万円

(担当室：危機管理室)

全国の自治体間通信を担う衛星システムの次世代型への移行に伴い、システムの互換性確保が必要となります。このため、有利な起債制度を活用して実施する県と県内全市町を結ぶ衛星通信システムの次世代型への更新事業について、その費用の一部を負担します。



社会資本整備総合交付金事業（交通

安全施設整備） **1億67.9万円**

(担当室：道路河川室・維持管理室)

社会資本整備総合交付金を活用し、安全で快適な通行の確保を図るため歩道の整備を行います。



緊急自然災害防止対策事業

6,500万円

(担当室：維持管理室)

緊急自然災害防止対策事業債を活用し、市内の幹線道路を中心に舗装補修を行い、安全で快適な道路通行の維持に努めることで防災・減災の取組を進めます。

令和7年度 特別会計当初予算

- 住宅新築資金等貸付事業特別会計 320万円
(前年比△130万円、28.9%減)
- 東山墓園造成事業特別会計 5,750万円
(前年比△840万円、12.7%減)
- 国民健康保険特別会計 83億3,840万円
(前年比△5,550万円、0.7%減)
- 介護保険特別会計 81億2,780万円
(前年比1億9,980万円、2.5%増)
- 後期高齢者医療特別会計 23億7530万円
(前年比1億1,760万円、5.2%増)
- 国津財産区特別会計 14万2千円
(前年比△3万1千円、17.9%減)

令和7年度 企業会計当初予算

●病院事業会計 64億7,946万6千円(前年比△1億6,070万円、2.4%減)

病院事業は、10月1日に経営形態を地方独立行政法人へ移行しますが、令和7年度当初予算は年間予算として編成し、法人の設立前に補正予算を編成の上、9月末日をもって「打ち切り決算」を行う予定としています。

●水道事業会計 41億2,763万3千円 (前年比4億391万円、10.8%増)

第2次名張市水道ビジョンに基づく施設更新工事費など

●下道事業会計 74億286万8千円 (前年比12億6,517万7千円、20.6%増)

未普及解消のための継続的な整備費や令和2年度からの継続費としている中央浄化センター増設事業費、施設更新工事費など



その他 発表事項

開庁時間及び電話対応時間の短縮

職員の働き方改革や市の業務改善の時間確保し、今後の市民サービスの向上を目指す取組の推進に取り組む

開庁時間及び電話対応時間

午前9時～午後4時30分

運用開始日

令和7年8月1日～

対象施設

市役所・保健センター・まちの保健室
上下水道部庁舎（電話受付時間は変更なし）
名張藤堂家邸、夏見廃寺展示館



物産・観光PRイベント

「なばりEXPOチャレンジ～名張の魅力発信フェスタ～」

開催日：令和7年3月11日 場所：ディーズスクエア（大阪・梅田）

Japan Travel Fair

開催日：令和7年2月22～23日 場所：フィリピン・マニラ



松明調進行事 近鉄列車ツアー

777年目となる伊賀一ノ井松明講
による松明調進行事
昨年に引き続き、近鉄電車による
ツアーが開催



開催日：令和7年3月12日

行程：極楽寺～＜徒歩＞～赤目口駅～＜貸切電車＞～奈良～＜徒歩＞～東大寺